

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2023年第7週（2月13日～2月19日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は28.01となり、先週に続いて減少しましたが、警報解除(※)には至っていません。行政区別では左京区(46.14)、南区(41.33)、山科区(32.43)、伏見区(31.91)、右京区(31.88)、西京区(25.50)の6行政区で警報が継続しています。

感染性胃腸炎が減少(先週6.19→今週4.53)しました。他の感染症では大きな変化はありません。

※インフルエンザは、警報レベルを超えたのち、定点当たり報告数10を下回ると警報解除となります。

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフルエンザ	69	インフルエンザ	28.01	31.71	35.58
小児科 (多い順に5位まで)	43	1. 感染性胃腸炎	4.53	6.19	5.72
		2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.37	0.65	1.07
		3. 咽頭結膜熱	0.16	0.05	0.14
		4. 突発性発しん	0.14	0.09	0.14
		5. 手足口病	0.12	0.12	0.12
眼科	10	流行性角結膜炎	0	0.10	0.20

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第6週以前の追加報告分を含みます）

2類感染症 結核 4例（本年累積24例）

今週追加4例内訳(肺結核2例、その他結核2例、潜在性結核感染者0例) うち喀痰塗沫陽性1例

本年累積24例内訳(肺結核13例、その他結核6例、潜在性結核感染者5例) うち喀痰塗沫陽性6例

新型コロナウイルス感染症 1,144例（本年累積36,411例）

◆ 今週のトピックス：レジオネラ症

京都市では、第7週までに2例のレジオネラ症の報告がありました。昨年のレジオネラ症の報告数は25例で、一昨年(19例)より増加しました。2001年以降の年間報告数は、年ごとの差が大きい状況ですが、おおまかにみると2019年までは増加傾向で、その後減少、再び増加に転じています。詳細をトピックスに掲載しています。

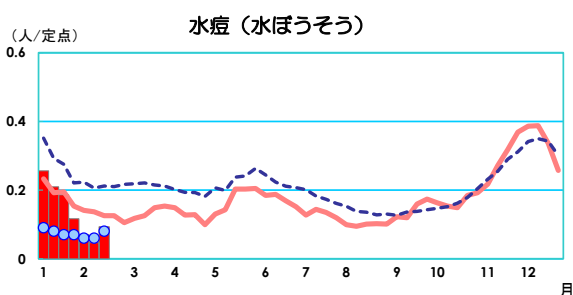
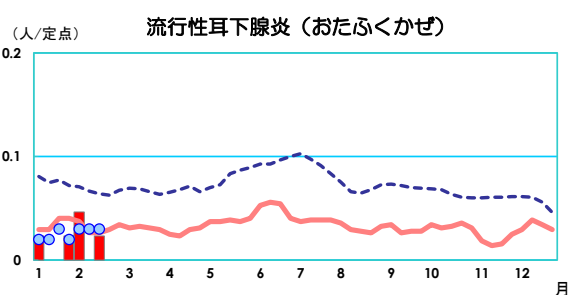
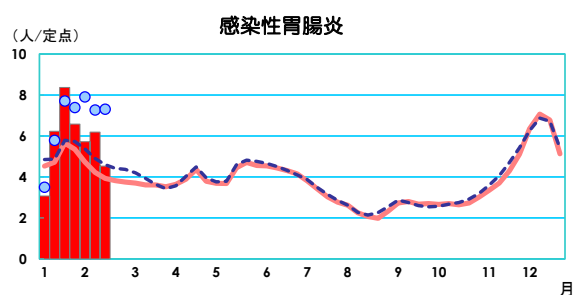
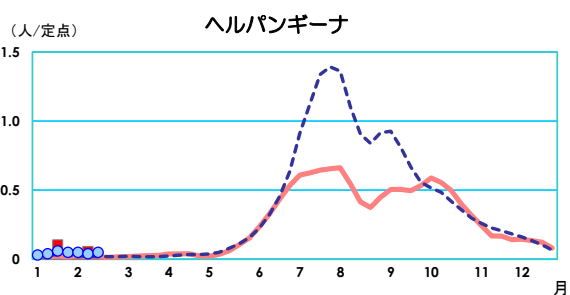
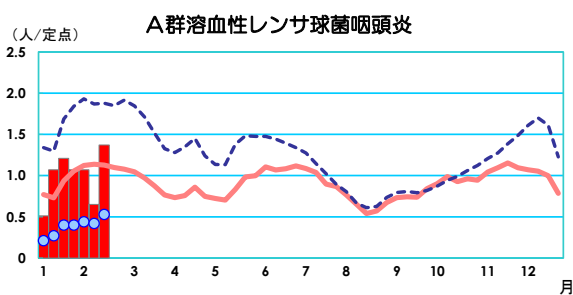
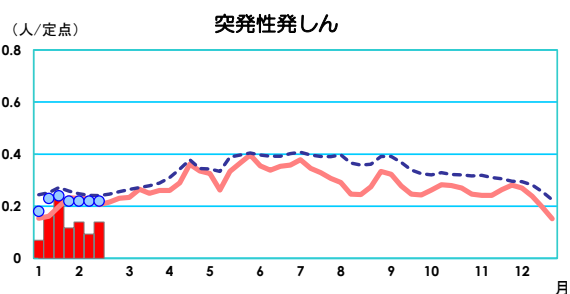
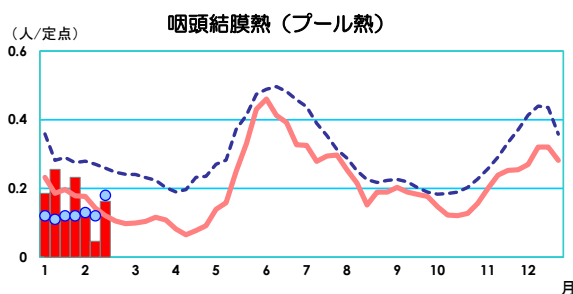
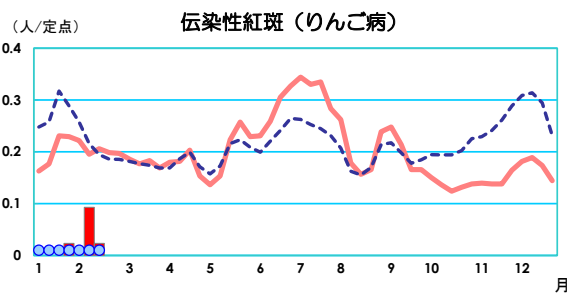
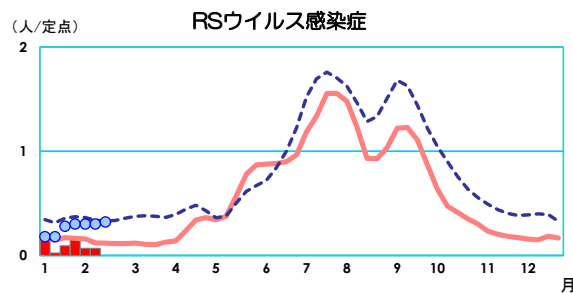
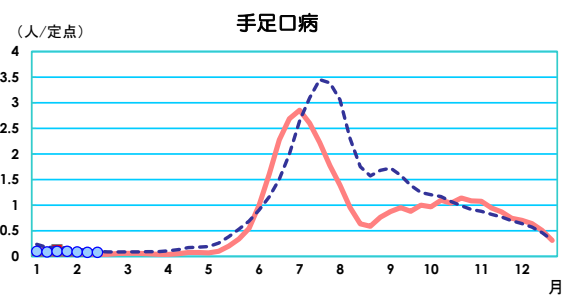
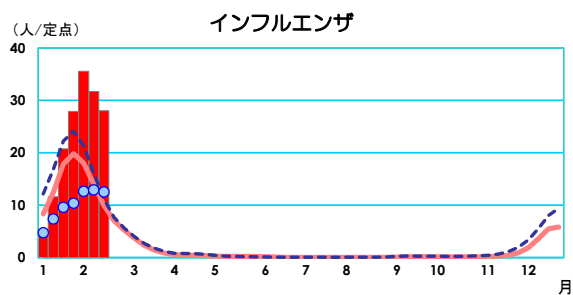
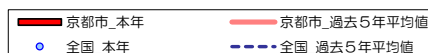
◆ 次ページ以降の内容

- ・インフルエンザ及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・トピックス
- ・インフルエンザ、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・インフルエンザ、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

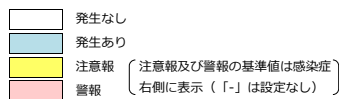
京都市のデータは、2023年2月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

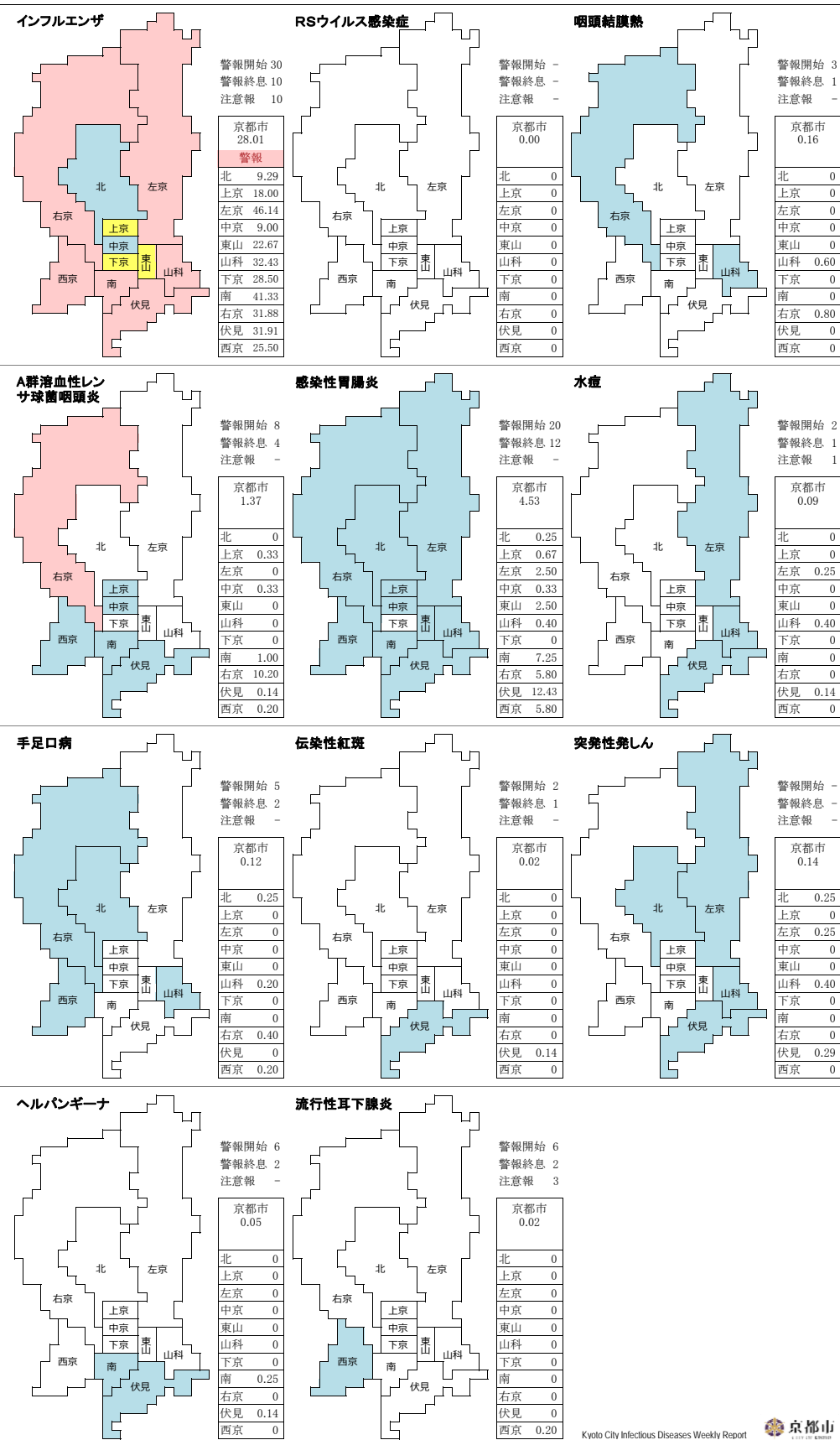
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2023年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2023年 第 7 週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。
※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に
注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。



2023年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2023/1/1～2023/2/19

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 累計	2022年 累計(参考)
急性灰白髄炎（ポリオ）														
結核	14	10											24	214
ジフテリア														
2類 重症急性呼吸器症候群（SARS）*1														
中東呼吸器症候群（MERS）*2														
鳥インフルエンザ（H5N1）														
鳥インフルエンザ（H7N9）														
コレラ														
細菌性赤痢														1
3類 腸管出血性大腸菌感染症	1												1	23
腸チフス														
パラチフス														
E型肝炎														1
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎														1
エキノコックス症														
黄熱														
オウム病														
オムスク出血熱														
回帰熱														
キャサナル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症														1
サル痘														
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3														
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
チクングニア熱														
つつが虫病														
デング熱														2
4類 東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）														
ニパウイルス感染症														
日本紅斑熱														
日本脳炎														
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
B型肝炎														
鼻咽														
ブルセラ症														
ペネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ボツリヌス症														
マラリア														1
野兔病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症	2												2	25
レプトスピラ症														
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢	1												1	10
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）														2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1											3	41
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)														
急性脳炎*4	1												1	3
クリプトスポリジウム症														
クロイツフェルト・ヤコブ病	1												1	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症														11
後天性免疫不全症候群	1												1	4
シアルシア症														1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1												1	5
侵襲性髄膜炎菌感染症														
5類 侵襲性肺炎球菌感染症	4												4	28
水痘（入院例に限る。）														3
髄膜炎菌性髄膜炎														
先天性風しん症候群														
梅毒	3	5											8	95
播種性クリプトコックス症														3
破傷風														2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症														3
百日咳														3
風しん														
麻疹														
薬剤耐性アシネトバクター感染症														1
*5 新型コロナウイルス感染症*6	31,474	4,937											36,411	331,709

(*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(*3)病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。(*5)分類名は「新型インフルエンザ等」

(*6)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

第7週(2月13日～2月19日)トピックス:<レジオネラ症>

京都市では、第7週までに2例のレジオネラ症の報告がありました。昨年のレジオネラ症の報告数は25例で、一昨年(19例)より増加しました。2001年以降の年間報告数は、年ごとの差が大きい状況ですが、おおまかにみると2019年までは増加傾向で、その後減少、再び増加に転じています(図1)。

全国の昨年の報告数は2,129例で、昨年(2,131例)とほぼ同じでした。2001年以降の長期的推移を見ると、多少の増減はあるものの、増加傾向が続き2019年に最多の2,316例となりました。その後はやや減少あるいは横ばいとなっています(図1)。

過去10年間の全国における発生動向を見ると、性別では、男性がほぼ8割、女性がほぼ2割で男性が圧倒的に多く、男女比は毎年おおむね一定しています。年齢階級別では、男性は50歳以上が大部分を占め、年齢が高いほど報告も多くなっています。女性は70歳未満が5%程度、70歳以上が15%前後で、女性でも高齢者で多くの報告があります(図2)。

年齢構成を詳しく見ると、70歳以上男性の割合が増えていることが大きな特徴です。2013年は3割程度だったのが、徐々に増加して2022年は約4割となりました(図2)。これは当該年代の人口構成比が年々大きくなっていることが一因と考えられ、必ずしもこの年代が罹患しやすくなっているわけではありません。

レジオネラ症の感染経路は、大きく分けて二つあり、一つは浴場等の水系、もう一つは土木作業や庭いじり等による塵埃(じんあい:ちり・ほこり)とされています。

原因菌であるレジオネラ属菌は、本来土壌などに生息する常在菌ですが、エアロゾルを発生させる人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)や循環風呂などが適切に維持管理されていない場合に感染源となる恐れがあります。病原体に曝露されても必ずしも発症するわけではありませんが、高齢者、新生児及び免疫の低下している人は注意が必要です。

感染予防対策としては、浴場等における配管・タンク内部の「ぬめり」の定期的な清掃・消毒や、土木作業・土いじりの際には、ちりやほこりを吸い込まないようにマスクを着用することが重要となります。また、厚生労働省からも情報が提供されていますので参考にしてください。

○レジオネラ症(レジオネラ症の解説:厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

○レジオネラ対策のページ(主に公衆浴場や旅館等の施設における対策:厚労省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124204.html>

図1 京都市及び全国の報告数の推移(2001年～2022年)

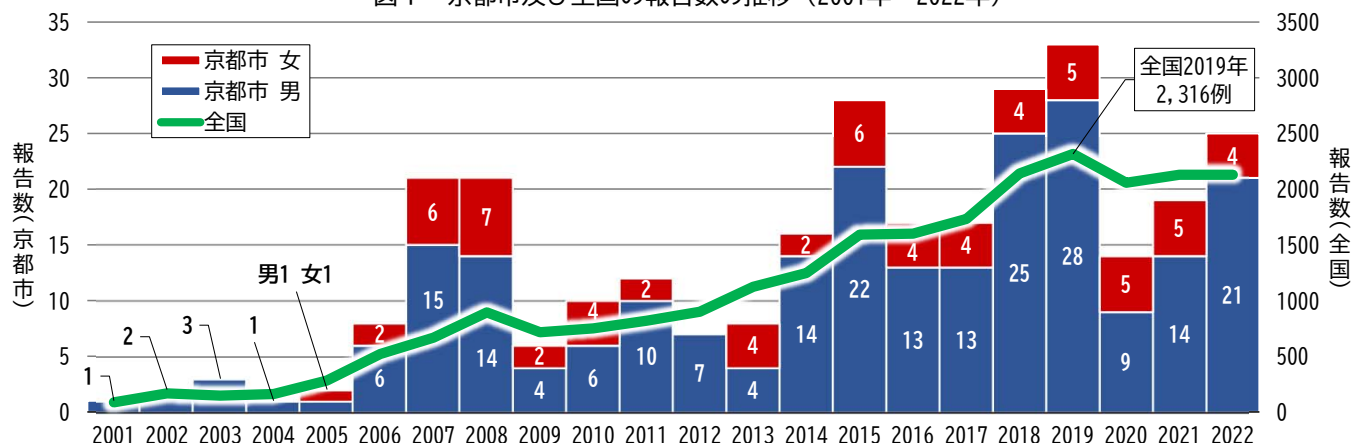
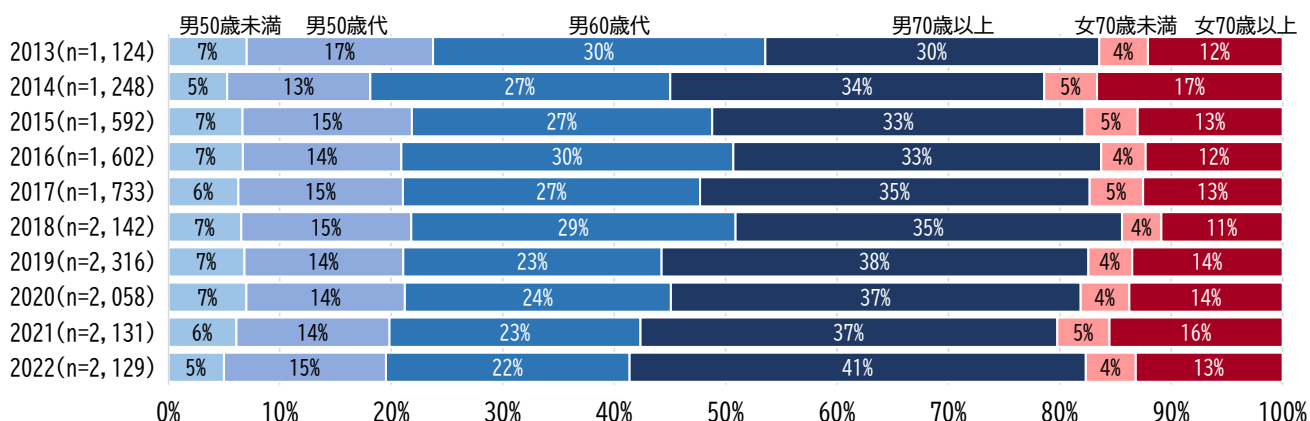


図2 全国の性別・年齢階級別割合(2013年～2022年)



京都市感染症発生動向調査情報（行政区別）

T3201

報告数		2023年 第7週（2023/2/13～2023/2/19）										データ取得日：2023年2月22日	
		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
定点区分	インフルエンザ（定点医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
インフル	インフルエンザ(※1)	65	90	323	45	68	227	57	248	255	351	204	1,933
小児科	小児科（定点医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
	R Sウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	咽頭結膜熱	-	-	-	-	-	3	-	-	4	-	-	7
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	1	-	1	-	-	-	4	51	1	1	59
	感染性胃腸炎	1	2	10	1	5	2	-	29	29	87	29	195
	水痘	-	-	1	-	-	2	-	-	-	1	-	4
	手足口病	1	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	5
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	突発性発しん	1	-	1	-	-	2	-	-	-	2	-	6
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
眼科	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	...	1	1	2	1	10
	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
基幹	流行性角結膜炎	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
	基幹（定点医療機関数）	1	1
	細菌性髄膜炎(※2)	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-

定点当たり報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
インフル	インフルエンザ(※1)	9.29	18.00	46.14	9.00	22.67	32.43	28.50	41.33	31.88	31.91	25.50	28.01
小児科	R Sウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	咽頭結膜熱	-	-	-	-	-	0.60	-	-	0.80	-	-	0.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	0.33	-	0.33	-	-	-	1.00	10.20	0.14	0.20	1.37
	感染性胃腸炎	0.25	0.67	2.50	0.33	2.50	0.40	-	7.25	5.80	12.43	5.80	4.53
	水痘	-	-	0.25	-	-	0.40	-	-	-	0.14	-	0.09
	手足口病	0.25	-	-	-	-	0.20	-	-	0.40	-	0.20	0.12
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	-	0.02
	突発性発しん	0.25	-	0.25	-	-	0.40	-	-	-	0.29	-	0.14
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-	0.14	-	0.05
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.02
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
基幹	細菌性髄膜炎(※2)	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（年齢階級別）

T3202

報告数 2023年 第7週（2023/2/13～2023/2/19） データ取得日：2023年2月22日

インフルエンザ定点 （定点医療機関数69）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	1,933	3	17	76	108	131	155	178	202	164	145	118	294	46	54	90	103	18	14	10	7
小児科定点 （定点医療機関数43）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上						
R Sウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	7	-	-	1	2	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	-	1	7	2	6	10	10	4	6	2	1	5	1	4						
感染性胃腸炎	195	6	10	32	18	18	17	26	23	6	7	3	17	5	7						
水痘	4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-						
手足口病	5	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	6	1	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
眼科定点 （定点医療機関数10）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹定点 （定点医療機関数1）	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

定点当たり報告数

インフルエンザ定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	28.01	0.04	0.25	1.10	1.57	1.90	2.25	2.58	2.93	2.38	2.10	1.71	4.26	0.67	0.78	1.30	1.49	0.26	0.20	0.14	0.10
小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上						
R Sウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	0.16	-	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.37	-	0.02	0.16	0.05	0.14	0.23	0.23	0.09	0.14	0.05	0.02	0.12	0.02	0.09						
感染性胃腸炎	4.53	0.14	0.23	0.74	0.42	0.42	0.40	0.60	0.53	0.14	0.16	0.07	0.40	0.12	0.16						
水痘	0.09	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-						
手足口病	0.12	-	-	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	0.14	0.02	-	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-						
眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

Kyoto City Infectious Diseases Weekly Report



京都市感染症発生動向調査情報（10週推移）

T3203

報告数		2022年 第49週 ～ 2023年 第7週							データ取得日：2023年2月22日				
		疫学週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
定点区分	インフルエンザ（定点医療機関数）		69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69
インフル	インフルエンザ（※1）		14	45	79	148	367	802	1,432	1,925	2,455	2,188	1,933
	小児科（定点医療機関数）		43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
小児科	R Sウイルス感染症		9	6	4	16	6	1	4	7	3	3	-
	咽頭結膜熱		7	5	8	2	8	11	5	10	6	2	7
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	38	31	21	22	46	52	46	46	28	59
	感染性胃腸炎		139	132	202	157	132	268	360	283	246	266	195
	水痘		2	12	8	3	11	9	8	5	3	2	4
	手足口病		42	24	35	7	6	7	10	2	5	5	5
	伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1
	突発性発しん		9	6	5	4	3	7	10	5	6	4	6
	ヘルパンギーナ		7	6	7	-	-	2	6	3	3	4	2
	流行性耳下腺炎		-	1	2	-	1	-	-	1	2	-	1
	眼科（定点医療機関数）		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
眼科	急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	流行性角結膜炎		1	1	3	1	2	4	1	-	2	1	-
	基幹（定点医療機関数）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
基幹	細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数		疫学週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
インフル	インフルエンザ（※1）		0.20	0.65	1.14	2.14	5.32	11.62	20.75	27.90	35.58	31.71	28.01
小児科	R Sウイルス感染症		0.21	0.14	0.09	0.37	0.14	0.02	0.09	0.16	0.07	0.07	-
	咽頭結膜熱		0.16	0.12	0.19	0.05	0.19	0.26	0.12	0.23	0.14	0.05	0.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.91	0.88	0.72	0.49	0.51	1.07	1.21	1.07	1.07	0.65	1.37
	感染性胃腸炎		3.23	3.07	4.70	3.65	3.07	6.23	8.37	6.58	5.72	6.19	4.53
	水痘		0.05	0.28	0.19	0.07	0.26	0.21	0.19	0.12	0.07	0.05	0.09
	手足口病		0.98	0.56	0.81	0.16	0.14	0.16	0.23	0.05	0.12	0.12	0.12
	伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.09	0.02
	突発性発しん		0.21	0.14	0.12	0.09	0.07	0.16	0.23	0.12	0.14	0.09	0.14
	ヘルパンギーナ		0.16	0.14	0.16	-	-	0.05	0.14	0.07	0.07	0.09	0.05
	流行性耳下腺炎		-	0.02	0.05	-	0.02	-	-	0.02	0.05	-	0.02
眼科	急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-
	流行性角結膜炎		0.10	0.10	0.30	0.10	0.20	0.40	0.10	-	0.20	0.10	-
	細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

インフルエンザ 全国推移（2023年）

警報開始：30 警報終息：10 注意報：10 流行期入目安：1

凡例：

0-1	1-5	5-10	10-30	30-45	≥45	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

RSウイルス感染症 全国推移（2023年）

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2.5	2.5-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-------	-------	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

咽頭結膜熱 全国推移（2023年）

警報開始：3 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-3	3-6	≥6	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 全国推移（2023年）

警報開始：8 警報終息：4 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-4	4-8	8-12	≥12	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

感染性胃腸炎 全国推移（2023年）

警報開始：20 警報終息：12 注意報：設定なし

凡例：

0-3	3-6	6-12	12-20	20-30	≥30	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

水痘 全国推移 (2023年)

警報開始：2 警報終息：1 注意報：1

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-2	2-4	≥4	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

手足口病 全国推移 (2023年)

警報開始：5 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

伝染性紅斑 全国推移（2023年）

警報開始：2 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-2	2-4	≥4	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

突発性発しん 全国推移（2023年）

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-3	3-4	4-6	≥6	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

ヘルパンギーナ 全国推移（2023年）

警報開始：6 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-6	6-9	≥9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

流行性耳下腺炎 全国推移 (2023年)

警報開始：6 警報終息：2 注意報：3

凡例：

0-1	1-2	2-3	3-6	6-9	≥9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

急性出血性結膜炎 全国推移（2023年）

警報開始：1 警報終息：0.1 注意報：設定なし

凡例： 0-0.05 0.05-0.08 0.08-0.1 0.1-1 1-1.5 ≥1.5 …(報告なし) -(ゼロ)

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01																																													
北海道	-	0.03	-	-	-	-	-																																													
青森県	-	-	-	-	-	-	-																																													
岩手県	-	-	-	-	-	-	-																																													
宮城県	-	-	-	-	-	-	-																																													
秋田県	-	-	-	-	-	-	-																																													
山形県	-	-	-	-	-	-	-																																													
福島県	-	-	-	-	-	-	-																																													
茨城県	-	-	-	-	-	-	-																																													
栃木県	-	-	-	-	-	-	-																																													
群馬県	-	-	-	-	-	-	-																																													
埼玉県	-	0.10	0.03	-	0.02	-	-																																													
千葉県	-	-	-	-	-	-	-																																													
東京都	-	-	-	0.03	-	-	0.03																																													
神奈川県	0.02	-	-	-	-	-	0.02																																													
新潟県	-	-	-	-	-	-	-																																													
富山県	-	-	-	-	-	-	-																																													
石川県	-	-	-	-	-	-	-																																													
福井県	-	-	-	-	-	-	-																																													
山梨県	-	-	-	-	-	-	-																																													
長野県	-	0.30	-	-	-	-	-																																													
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-																																													
静岡県	-	-	-	-	-	-	-																																													
愛知県	-	-	-	-	-	-	-																																													
三重県	-	-	-	-	-	-	-																																													
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-																																													
京都府	-	-	-	0.06	-	-	-																																													
大阪府	-	0.02	0.02	-	-	0.04	0.02																																													
兵庫県	-	0.06	-	-	-	-	-																																													
奈良県	-	-	-	-	-	-	-																																													
和歌山県	-	-	-	0.25	-	-	-																																													
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-																																													
島根県	-	-	-	-	-	-	-																																													
岡山県	0.08	-	0.08	-	-	-	0.08																																													
広島県	0.05	-	-	-	-	0.05	0.05																																													
山口県	-	-	-	-	-	-	-																																													
徳島県	-	-	-	0.25	-	-	-																																													
香川県	-	-	-	-	-	-	-																																													
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-																																													
高知県	-	-	-	-	-	-	-																																													
福岡県	-	-	-	-	-	-	-																																													
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-																																													
長崎県	-	0.13	0.25	0.13	0.25	-	-																																													
熊本県	-	-	-	-	-	-	-																																													
大分県	-	-	-	-	-	-	-																																													
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-																																													
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	0.29	-																																												
沖縄県	0.11	0.22	-	0.11	-	0.22	-																																													

流行性角結膜炎 全国推移（2023年）

警報開始：8 警報終息：4 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-4	4-8	8-12	≥12	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]